

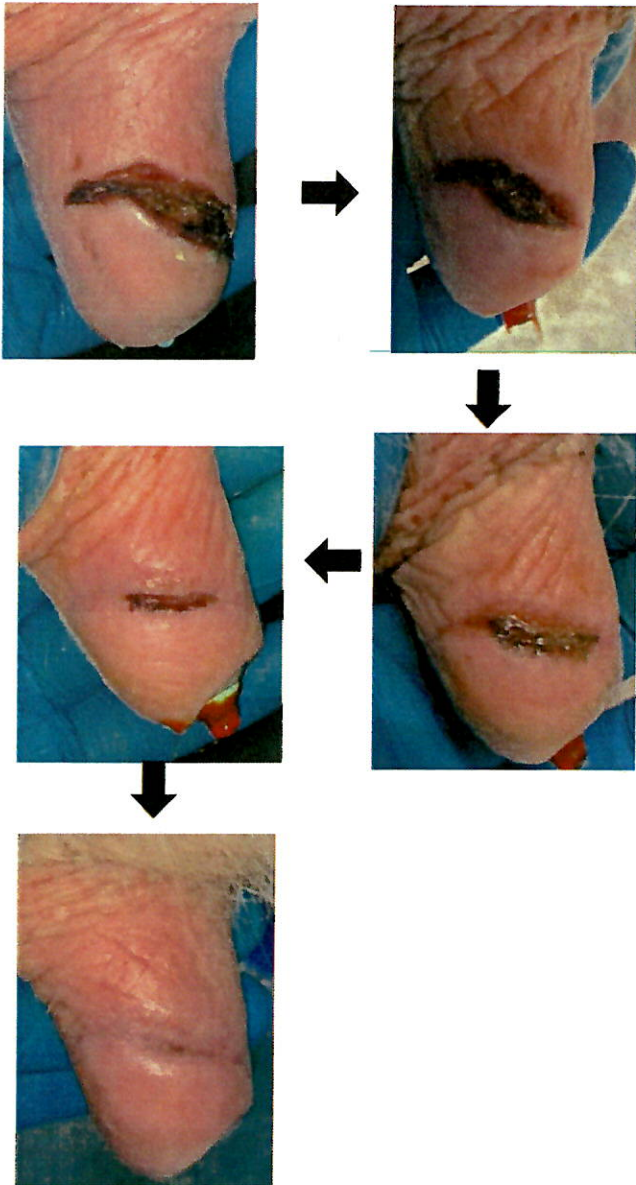
【獣医いらず！乳頭損傷】

はじめに

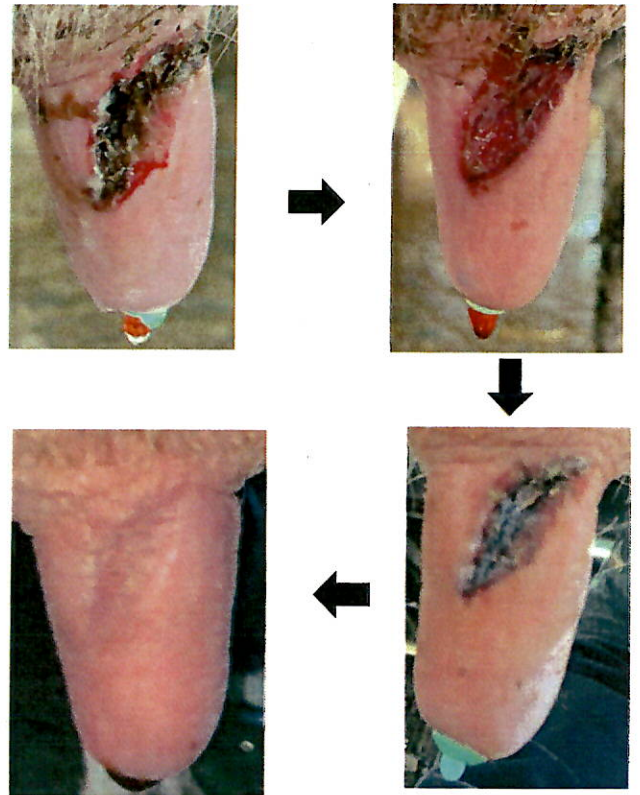
みなさんお久しぶりです。小方です(今は村上ですが)。M情報を書こうと思いながら7月になり遅くなってしまいました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。わたしは今、別海町酪農研修牧場の第二牛舎のフリーストールの方で(第一牛舎はつなぎ)主に哺育と搾乳をしています。

今回は、乳頭損傷の2症例、しかも一度ミルカーをつけてしまった後でも治ったので紹介したいと思います。どちらもTHMSで使用していたステープラーや縫合の処置はせず、患部の洗浄とAチューブのみで行いました(日々のメンテナンスはわたしではなく旦那がやりました)。

症例①



症例②



日々のメンテナンスとその方法

かさぶたができるまでは生理食塩水にて患部を綺麗に洗浄し、親水軟膏を塗布し(かさぶたが出来てきて乾燥した状態になったら洗浄はなし)、Aチューブで排乳させた後、乳房炎軟膏を1回/日挿入し、Aチューブのキャップは清潔な手で持ち、イソジンゲルをつけて蓋をしました。最後にシルキータックスで乳頭全体を覆い、患部が汚れないようにしました。①が1ヶ月、②が1ヶ月半かかりましたが、ミルカーで搾乳し出荷できるようになりました。手間と時間をかけられるならおすすめします。思い切って乳頭カットの方が楽かも!?意見がわかれそうですね。

さいごに

また何かネタがあればこちらで書かせていただくと思っております。新規就農できそうな離農する牧場があれば紹介をお待ちしております。

村上 可奈江 (小方)



Total Herd Management Service